

令和4年度 事業報告書

特定非営利活動法人 映画業界で働く女性を守る会

1 事業の成果

◆労働環境に関する交流事業及び啓発事業

- 4月 映画「マイライフ、ママライフ」公開記念イベントにSAORI、浅田登壇
第93回メーデー中央大会 SAORI登壇（フリーランスの登壇は初）
- 7月 東放学園映画専門学校、映画制作科2年生に向けた「進路対策講座」にて、SAORIが講師として『映像業界でフリーランスとして働くための心得』について講義
- 10月 JFPjointオンライン講座「映像フリーランスに保険って必要ですか？」に副代表畦原登壇
第35回東京国際映画祭会期中シンポジウム「持続可能な若手映画人の参入へ向けての提言」にSAORI登壇
- 11月 Wor-QアドバイザリーボードメンバーにSAORIが就任。
- 12月 映画「夜のスカート」上映アフタートークにSAORI登壇
- 通年 契約書のない映像業界において、身を守るために最低限押さえておくべきポイントをまとめた「心得カード」を作成し、映像系の学校や企業等に場所を提供していただき設置、配布を開始した。また、忙しい業界人への当団体周知の方法として、swfiロゴマークを現場で目にする機会が増えればそこから興味を持つ人もいるのではとの意見から、撮影現場で使用する頻度の高いてぬぐいを作成し必要経費のみでの販売や配布をした。

◆労働環境に関する情報提供及び発信事業

- 8月 表現の現場調査団のまとめた『表現の現場ジェンダーバランス白書2022』へ、swfiメンバー園部が調査協力及びSAORIがコラムを寄稿。
- 11月 swfi運営メンバーでもある正会員、インティマシーコーディネーターの浅田智穂による「インティマシーコーディネーターお仕事説明会」をswfiで主催。新しい職業であるICを目指す人に向けて説明していただくなど、会員の活動のサポートも行った。
- 1月 令和5年10月から導入されるインボイス制度に向けて、税理士を講師に招き、映像業界人フリーランスに特化したインボイス説明会を主催した。事後アンケートには「疑問と不安を解決させることができた。これからもこのような活動を続けてほしい」、「中立的な立場で説明してもらい、自分がどう考えなくてはいけないか見えてきた」と好評の声が寄せられた。
- 2月 第1回『観たいのに観れなかった映画賞』開催
映像業界で働く人の多くは、映画が好きで業界に入ったのに仕事が忙しく、毎年開催される様々な映画賞や映画祭に当事者意識を持ってないという現状や、映画を観に行く時間を取れないという矛盾に疑問を持ち上記映画祭を開催した。投票資格は業界のジェンダーバランスの不均衡への問題提起の意味を込め、映像業界で働く女性に限定した。投票と同時にアンケートにも回答してもらい、どのような環境であれば映画を観に行けたかという設問への回答から、労働環境の改善点も見えてきた。全ての回答は誰でも閲覧、ダウンロードできるよう報告書としてまとめ、Webサイトで公開し

た。上位受賞作品の監督やプロデューサーへ記念品を贈呈、「映画を観たいのに観に行けない労働環境」について意見交換をし、問題点を共有することができた。

通年 取材やインタビューを通して、映像業界の問題点を広く業界内外に向けて提起した。活動を続ける中でメディアのインタビュー取材を受けることが増え、紙面、Web記事等様々な媒体を通して、一般の人にも広く映像業界の実状とswfiの活動を伝えることができた。

通年 談話室の定期開催
 昨年度より継続事業として、誰でも気軽に参加、発言できるオンライン意見交換会『談話室』を月に一度定期開催した。職業や年齢性別を問わず様々な人が集まり広く意見を交換したことで、業界の視野の狭さや労働環境への意識の低さ等、業界外との差を改めて認識することができた。
 映像業界で働く人からは、普段感じている疑問や悩みを仕事のしがらみのない状況で話すことで気が楽になった、こういう場所があってよかったという肯定的な感想を多くいただいた。回を重ねるごとに様々な部署の方が集まり、「誰もが働きやすい映像制作現場」について各部署から意見を聞くことができた。具体的には通常1人部署の2人体制化（交代制）や各部エキスパート制等の案があがった。

◆労働環境に関する相談事業

一年を通し、WEBサイトでの相談窓口を運営。相談件数が少しずつ増え、個別の面談や、必要な方への専門機関の紹介など実績を積んだ。

◆労働環境に関する政策提言事業

「[映像業界]なぜやめた？アンケート調査」実施と各省庁への要望書提出

過酷な労働環境により離職者が多く人材不足が深刻な映像業界において、現在その環境に順応して働いている人たちの声だけでなく、業界をやめていった人たちの声を聞くことが、「誰もが働きやすい環境」を検討するうえで重要であると考え、離職者を対象とした「[映像業界]なぜやめた？アンケート調査」を実施した。118名の方から回答を得て、その結果をもとに『映像業界における離職防止のための要望書』を作成し関係各省庁へ提出した。提出の際文化庁、厚生労働省の担当者と意見交換をし、厚生労働省記者クラブにて会見を開いた。会見の様子や調査結果はメディアにも取り上げられた他、action4cinema制作『日本版CNC、なぜ必要？』解説動画内に調査結果の一部を引用していただくなど、多方面から反響があった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【463】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
労働環境に関する交流事業及び啓発事業	学生へ向けて業界の魅力と問題点への対策等を伝える講義をし、将来の人材確保と離職率低下を図った。	7月	新宿	3人	主に映像業界を目指す学生	50人	5

	イベントやセミナー、シンポジウムなどに積極的に参加し、映像業界の問題点について広く一般の方へも訴えた。	通年	オンライン、渋谷、日比谷等	6人	映像業界関係者及び映像業界に興味のある一般市民	1000人	157
	認知度向上のため団体のロゴマーク入りのてぬぐいやステッカーを作成し配布した。	通年	法人事務所、オンライン	6人	映像業界関係者及び映像業界に興味のある一般市民	100人	139
	フリーランスとして仕事を受ける際に確認しておくべき事項を記載したカード（心得カード）を作成し配布した。	通年	法人事務所、新宿、川崎、オンライン	6人	主に映像業界関係者	500人	20
労働環境に関する情報提供及び発信事業	取材やインタビューを通して、映像業界の問題点を広く業界内外に向けて提起した。	通年	法人事務所、オンライン	6人	映像業界関係者及び映像業界に興味のある一般市民	1000人	3
	インティマシーコーディネーター説明会を開催した	11月	オンライン	6人	映像業界関係者及び映像業界に興味のある一般市民	100人	3
	映像業界フリーランス向けにインボイスセミナーを開催した。	1月	オンライン	6人	主に映像業界関係者	30人	34
	第1回「観たいのに観れなかった映画賞」を開催した。	2～3月	オンライン、新宿	6人	映像業界関係者及び映像業界に興味のある一般市民	1000人	43
	誰でも気軽に参加できるオンライン意見交換会（談話室）を定期開催した。	月1回	オンライン	3人	映像業界関係者及び映像業界に興味のある一般市民	100人	12

	Webサイト上でダウンロードして使える契約書のひな型を配布した。	通年	法人事務所	3人	主に映像業界関係者	1000人	3
労働環境に関する相談事業	Webサイトに相談窓口を設け、必要な方には専門家を紹介した。	通年	法人事務所、	3人	主に映像業界関係者	1000人	3
休業補償制度及び助成事業	正会員向けにライトプランを提供した。	通年	法人事務所	3人	主に映像業界関係者	1000人	3
	休業補償制度確立のために、仕事と育児の両立に必要な支援について意見交換会を行った。	12月	新宿	5人	主に映像業界関係者	5人	3
労働環境に関する政策提言事業	「[映像業界]なぜやめた？アンケート調査」を実施。結果を元に要望書を作成し、関係各省庁に提出。記者会見を開いた。	5月、11月	オンライン、法人事務所、霞が関	6人	映像業界関係者及び映像業界に興味のある一般市民	1000人	35

令和4年度 活動計算書

事業報告用

特定非営利活動法人映画業界で働く女性を守る会

(単位:円)

科	目	金額	小計・合計
【A】経常収益			
1	受取会費		125,000
	正会員受取会費	85,000	
	賛助会員受取会費	40,000	
2	受取寄附金		38,250
	受取寄附金	38,250	
	施設等受入評価益		
3	受取助成金等		0
	受取補助金		
4	事業収益		334,775
	労働環境に関する交流事業及び啓発事業	245,775	
	労働環境に関する情報提供および発信事業	89,000	
	労働環境に関する相談事業	0	
	休業補償制度の設立及び助成事業	0	
	労働環境に関する政策提言事業	0	
5	その他の収益		1,157
	受取利息		
	雑収益	1,157	
経常収益計			499,182
【B】経常費用			
1	事業費		
	(1)人件費		0
	給料手当		
	役員報酬		
	退職給付費用		
	福利厚生費		
	(2)その他経費		463,680
	諸謝金		
	会議費	12,689	
	旅費交通費	1,500	
	広告宣伝費	91,350	
	通信運搬費	25,017	
	消耗品費	82,015	
	外注費	244,500	
	支払手数料	6,609	
事業費計			463,680
2	管理費		
	(1)人件費		0
	役員報酬		
	給料手当		
	退職給付費用		
	福利厚生費		
	(2)その他経費		24,441
	会議費	0	
	旅費交通費	0	
	通信運搬費	9,686	
	水道光熱費	0	
	地代家賃	0	
	広告宣伝費	0	
	減価償却費	0	
	消耗品費	0	
	新聞図書費	0	
	租税公課	0	
	交際費	0	
	外注費	0	
	支払手数料	14,755	
管理費計			24,441
経常費用計			488,121
当期経常増減額【A】-【B】…①			11,061
【C】経常外収益			
	固定資産売却益		
	過年度損益修正益		
経常外収益計			0
【D】経常外費用			
	固定資産売却損		
	災害損失		
	過年度損益修正損		
経常外費用計			0
当期経常外増減額【C】-【D】…②			0
税引前当期正味財産増減額①+②…③			11,061
	法人税、住民税及び事業税…④		0
	前期繰越正味財産額…⑤		272,440
次期繰越正味財産額③-④+⑤			283,501

令和4年度 貸借対照表

特定非営利活動法人映画業界で働く女性を守る会

(単位：円)

科目	金額	小計・合計
【A】 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	283,501	
未収金	0	
棚卸資産		
流動資産合計・・・①		283,501
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		
車両運搬具		
什器備品		
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア		
借地権		
(3) 投資その他の資産		
敷金		
長期貸付金		
固定資産合計・・・②		0
【A】 資産合計①+②		283,501
【B-1】 負債の部		
1 流動負債		
未払金	0	
預り金	0	
流動負債合計・・・③		0
2 固定負債		
長期借入金		
退職給付引当金		
固定負債合計・・・④		0
負債合計③+④		0
【B-2】 正味財産の部		
前期繰越正味財産額	272,440	
当期正味財産増減額	11,061	
正味財産合計		283,501
【B】 負債及び正味財産合計【B-1】 + 【B-2】		283,501

令和4年度 財産目録

特定非営利活動法人映画業界で働く女性を守る会

(単位:円)

科目	金額	小計	合計
【A】資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
GMOあおぞらネット銀行普通預金	270,151		
手元現金	13,350		
未収金			
正会員費クレジット決済	0		
賛助会員費クレジット決済	0		
寄付金クレジット決済	0		
棚卸資産	0		
流動資産合計・・・①			283,501
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
車両運搬具	0		
什器備品	0		
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア	0		
(3) 投資その他の資産			
敷金	0		
長期貸付金	0		
固定資産合計・・・②			0
【A】資産合計①+②			283,501
【B-1】負債の部			
1 流動負債			
未払金			
クレジット代行手数料	0		
預り金	0		
流動負債合計・・・③			0
2 固定負債			
長期借入金	0		
退職給付引当金	0		
固定負債合計・・・④			0
【B-1】負債合計③+④			0
【B-2】正味財産合計【A】-【B-1】			283,501